

現行計画「安心・活力・発展プラン2015」の成果や課題



時代の要請・潮流の変化

- |                                  |                                  |
|----------------------------------|----------------------------------|
| <b>変化1</b> 多様性を認め合い共生・共創する社会への要請 | <b>変化4</b> 新興感染症対策と社会経済活動の両立     |
| <b>変化2</b> 想定を上回るスピードで進む人口減少     | <b>変化5</b> 産業を取り巻く環境の劇的な変化       |
| <b>変化3</b> 地球環境問題の深刻化と自然災害の脅威    | <b>変化6</b> デジタル社会の進展と加速する先端技術の活用 |

新たな長期総合計画の策定へ

策定の趣旨

- ・現行計画が令和6年度末で終期を迎える
- ・実績をあげてきた「安心」「活力」「発展」の大分県づくりを継承するとともに、時代の要請や潮流の変化にしっかりと対応し、大分県を新たなステージへと発展させるため、前倒しで新たな計画を策定

計画の性格・役割

新計画は、県行政の長期的、総合的な指針を示すものであり、県民と行政が目指すべき目標を共有し、その実現に向けてともに努力する内容を明らかにするもの

計画の期間

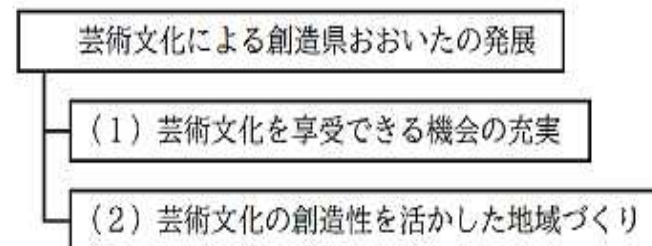
令和6年度を初年度とし、令和15年度までの10年間とする。ただし、中間年(令和10年度)に見直しを行う。

基本目標

- 誰もが**安心**して**元気**に活躍できる大分県
- 知恵と努力が報われ**未来**を**創造**できる大分県

分野別政策・施策

- |                   |                            |                     |
|-------------------|----------------------------|---------------------|
| 「安心」<br>(7政策24施策) | 「 <b>元気</b> 」<br>(7政策16施策) | 「未来創造」<br>(5政策17施策) |
|-------------------|----------------------------|---------------------|



(1) 芸術文化を享受できる機会の充実

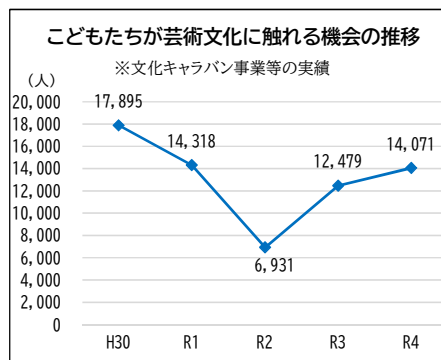
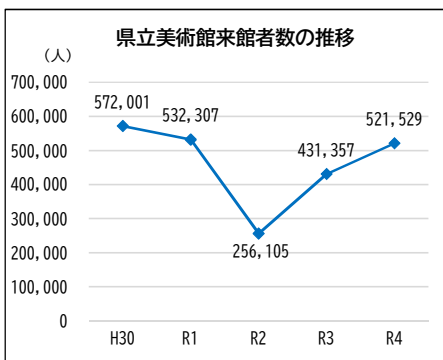
[企画振興部、福祉保健部、教育庁]

10年後の目指す姿

- ◆年齢や性別、障がいの有無などにかかわらず、誰もが多彩で質の高い芸術文化に触れ・親しむことができ、自ら創作活動に取り組める環境が充実している。
- ◆メタバース(仮想空間)<sup>※1</sup>などデジタル技術の活用により、いつでもどこでも気軽に芸術文化を鑑賞できる環境が整っている。
- ◆本県の芸術文化の発展を担う人材育成に向けて、こどもたちの豊かな感性や創造力が育まれている。

現状と課題

- 県内では、別府アルゲリッチ音楽祭や大分アジア彫刻展など、多彩で質の高い催しが開催されています。こどもから高齢者まで、また障がいの有無等に関わりなく、誰もが各地で気軽に芸術文化に触れ親しむことができる機会を一層充実することが求められています。
- 県立総合文化センターや県立美術館の客層の高齢化・固定化が懸念されています。若い世代を中心とした新たなファン層の拡大やデジタル技術の活用による鑑賞機会の充実などが必要です。
- こどもたちを対象とした県立美術館のミュージアムツアーや文化キャラバン事業<sup>※2</sup>など、鑑賞機会の充実に取り組んでいますが、作品や練習成果の発表機会は未だ限定的です。
- 次代の芸術文化の担い手を育むためにも、こどもたちや若者の豊かな感性や創造力を育成し、それを発揮する機会の充実が必要です。



主な取組

①芸術文化に触れる機会の充実

- ・別府アルゲリッチ音楽祭や県立美術館における企画展など、国内外の優れた芸術文化の鑑賞機会の充実
- ・別府アルゲリッチ音楽祭等の大型イベントと連携した野外コンサートなど、まちなかイベントの開催
- ・県内各地域でのコンサートや出張展覧会等のアートイベントの開催
- ・大分が育んだ作家の絵画や文学作品等の紹介とあわせた本県の歴史や文化、芸術的風土などの情報発信
- ・県立美術館における主要コレクション等のデジタルコンテンツ化<sup>※4</sup>などデジタル技術の活用による芸術文化の鑑賞機会の充実



別府アルゲリッチ音楽祭(C) 脇屋伸光

②芸術文化の創作・発表機会の充実

- ・芸術文化団体や地域団体が実施する展示会等への支援
- ・多様な分野で活躍する団体の協働による県民芸術文化祭の展開
- ・地域の芸術家を起用した県内各地域でのアートイベントの開催



新生支援学校生と大分雄城台高校生による交流発表会

③障がい者による芸術文化活動の推進

- ・おおいた障がい者芸術文化支援センターによる相談支援体制の充実
- ・障がい者を対象とした芸術文化を体験できるワークショップ等の開催
- ・障がい者を対象とした公募展等の開催や障がい者アーティストの作品の商品化に向けた支援
- ・特別支援学校と県立高校の芸術文化活動を通じた交流及び発表の場の創出



文化キャラバンによる鑑賞機会の提供

④こどもたちの豊かな感性の育成

- ・こどもたちの豊かな感性や創造力の育成に向けた学校への芸術家派遣などアウトリーチ活動の推進
- ・芸術文化イベントへの無料招待など、こどもたちが芸術文化に触れる機会の充実
- ・県立美術館でのワークショップの開催など教育普及活動の実施

想定する目標指標 (※下記を含め、適切な指標が設定できないか検討中)

①県立総合文化センターホール利用率(%)

[考え方] 芸術文化ゾーンの活性化につながるセンターでの公演開催状況を測るために設定

②過去1年間に芸術文化を鑑賞した人及び芸術文化活動に参加した人の割合(%)

[考え方] 県民意識調査により芸術文化の鑑賞機会、発表機会の充実度を図るために設定

※1 インターネット上に構築された三次元の仮想的なデジタル空間  
 ※2 県民が芸術文化に身近に触れることができるより多くの機会を提供し、芸術文化に親しむ環境づくりに貢献するとともに、県内の芸術文化活動を支援する芸術鑑賞事業

※3 ロボティクス、センサー、定遅延の通信、実際に物の感触を疑似的に伝える技術等の先端技術を複合的に用いて、離れた場所のロボットを遠隔操作し、あたかもそこに存在しているかのようにコミュニケーションや作業等を行う技術  
 ※4 OPAMが所蔵する作品の高精細画像や3D画像をインターネットを通じて鑑賞できる。展示室では、QRコードを読み込むことで詳しい解説が多言語で閲覧できる

(2) 芸術文化の創造性を活かした地域づくり

[企画振興部、商工観光労働部、教育庁]

10年後の目指す姿

- ◆芸術文化が持つ可能性があらゆる分野と融合することで、観光誘客や産業の高付加価値化などにつながり、県内各地で地域の元気が創出されている。
- ◆県立総合文化センターや県立美術館を中心に、新たな価値観に触れ、刺激を受けることのできる企画展や、こどもから大人まで誰もが楽しめる催しが開催され、多くの県民で賑わっている。
- ◆地域の人々が、愛着をもって文化財・伝統文化を守り、継承するとともに、まちづくりや地域活性化に活かしている。

現状と課題

- 県内各地で展開されている多彩で質の高い芸術文化活動や、本県の歴史と風土に育まれた文化財・伝統文化は、優れた地域資源でもあります。
- こうした芸術文化の創造性や地域資源をあらゆる分野で最大限に活用し、産業の高付加価値化や地域の元気創出につなげていく必要があります。
- 県立総合文化センター及び県立美術館と中心市街地が相互に連携を深め、賑わいを創出するとともに、回遊性を高めていくことが重要です。
- 県内各地で受け継がれてきた文化財・伝統文化を守り、確実に次世代に継承していくことが必要です。
- 文化財に親しみ、理解を深める機会を創出するとともに、継承者を育成していくことが求められています。



県立美術館とJR大分駅との共同企画「JR九州と行こうプロジェクト『どこでも駅(えき)』」

<本県の国・県指定文化財数> (令和5年3月31日現在)

国指定の文化財	県指定の文化財	合計	
重要文化財(国宝4件含む)	91有形文化財	500	591
重要無形文化財	1無形文化財	2	3
重要有形民俗文化財	4有形民俗文化財	14	18
重要無形民俗文化財	7無形民俗文化財	47	54
史跡(特別史跡1含む)	46史跡	107	153
名勝	6名勝	6	12
天然記念物(特別天然記念物2含む)	24天然記念物	79	103
重要伝統的建造物群(選定)	2	-	2
重要文化的景観(選定)	5	-	5
選定保存技術	0選定保存技術	1	1
合計	186	合計	756

出典：大分県

主な取組

①芸術文化を活かした産業の高付加価値化や地域の元気創出

- ・付加価値の高い商品やサービスの開発など、企業とクリエイターとのマッチング促進や事業化への支援
- ・障がい者アーティストの作品の商品化に向けた支援
- ・民間事業者等が行う店舗でのコンサートや作品展示など芸術文化を活用した取組への支援
- ・県立美術館等の文化施設や小説・アニメのゆかりの地など、県内各地の文化資源を活用したカルチャーリズム<sup>※1</sup>の推進
- ・芸術文化を活用した地域活動を展開できるマネジメント人材の育成



②芸術文化ゾーン<sup>※2</sup>を核とした地域の活性化

- ・芸術性やオリジナリティの高い公演等の開催
- ・JR大分駅や大分市中心部商店街での美術作品展示による周遊促進など、県立総合文化センター、県立美術館と近隣の商店街や文化施設、民間企業等との連携強化
- ・県内の公立文化施設での共同広報の実施など、県と市町村や文化施設、芸術文化団体等との連携の推進



大分県立美術館(OPAM)

③文化財・伝統文化の保存・継承と魅力発信

- ・文化財の指定・選定・登録制度を活用した適切な保存・管理・継承の推進
- ・文化財および伝統文化のデジタル化による保存と活用
- ・市町村の「文化財保存活用地域計画<sup>※3</sup>」の策定促進
- ・伝統芸能の継承に関わる後継者団体の育成支援



富貴寺大堂の実物大模型にCG映像を投影する様子(県立歴史博物館)

想定する目標指標 (※下記を含め、適切な指標が設定できないか検討中)

①県民芸術祭等文化イベントの参加者数(人)

【考え方】芸術を活かした地域の元気創出の成果を図るための指標

②文化財保存活用地域計画作成の取組数(累計)

【考え方】全ての市町村において、地域計画が作成され、文化財の保存・活用・継承のプランが住民に共有される状況を目指すため設定

※1 歴史に根差した文化財、伝統的な祭りや生活文化などに触れ、これらに関する知識を深めることを目的とする観光形態  
 ※2 県立総合文化センターと県立美術館を中心として、大分市中心部の商店街や文化施設、民間企業等との連携を進める本県芸術文化の拠点となる区域  
 ※3 市町村における文化財の保存・活用に関するアクション・プラン  
 まちづくりや観光などの他の行政分野とも連携し、総合的に文化財の保存・活用を進めていくための枠組み

# 県民意識調査の結果 ※参考資料

## ⑥各分野で力を入れてほしいこと (10~12項目の中から3つまで選択可) ※赤文字は50%を超えた項目

### ①子ども・子育て環境

- 1位: 保育料や医療費など子育てにかかる経済的支援 (61.7%)
- 2位: 保育所、病児保育などの預かりサービスや放課後児童クラブの充実(43.6%)
- 3位: 若者の出会いの機会の創出 (37.2%)

### ②高齢者・障がい者福祉

- 1位: 介護・障がい福祉サービスの充実 (52.7%)
- 2位: 生活支援の充実 (45.5%)
- 3位: 在宅介護や在宅医療の充実 (44.2%)

### ③地域共生社会づくり

- 1位: 経済的に困窮している方等の生活や就労への支援 (48.1%)
- 2位: 社会的に孤独・孤立している方や家族等への支援 (46.6%)
- 3位: 虐待で子どもが傷ついたりすることがない環境づくり(37.9%)

### ④医療・健康づくり

- 1位: 休日・夜間など緊急時の救急医療体制の充実 (57.5%)
- 2位: 在宅で適切な医療を受けられる環境づくり (45.8%)
- 3位: 地域で不足する領域の医師や看護師等の確保 (36.8%)

### ⑤防災・減災対策

- 1位外: 災害時の物資備蓄や避難所などの防災拠点の環境整備
- 1位外: 災害に関する情報の迅速で確実な伝達 (54.5%)
- 3位: 自力での避難が困難な方の支援体制づくり (38.7%)

### ⑥移住・定住の促進

- 1位: 移住・定住の受け皿となる仕事づくりや働く場の確保(59.0%)
- 2位: 子どもを生み育てやすい環境づくり(47.1%)
- 3位: 地域に住み続けたいという住民の思いを叶える地域づくり (39.1%)

### ⑦地域の活性化

- 1位: 身近なバス路線など日常の交通手段の確保 (48.2%)
- 2位: 暮らしを支える農業・林業・水産業への支援 (41.0%)
- 3位: 人口減少と高齢化が進む集落をみんなで支え合う仕組みづくり (35.5%)

### ⑧農林水産業の振興

- 1位: 大分のブランドとなる品目の確立と販売促進 (45.4%)
- 2位: 企業の農業参入など多様な担い手の確保と育成 (43.5%)、
- 3位: 食品産業と連携した生産から加工、販売までの産地づくりの推進 (38.5%)

### ⑨商工業の振興

- 1位: 若年者などの雇用対策 (51.8%)
- 2位: 経営・融資や商品・技術開発から販路開拓まで中小企業への支援 (45.4%)
- 3位: 商店街や中心市街地の活性化・観光産業の振興 (41.6%)

### ⑩観光の振興

- 1位: 空港や駅から観光地までの交通手段(バス・観光タクシーなど)の充実(50.3%)
- 2位: 大分県の魅力の国内外への更なる情報発信 (48.0%)
- 3位: 地域の資源を活かした新たな観光素材の発掘や多様なツーリズムの推進(40.0%)

### ⑪学校教育

- 1位: 基礎的な知識や思考力など学力向上のための取り組み(45.0%)
- 2位: 教職員の資質や指導力の向上 (39.9%)
- 3位: いじめや不登校への対応と未然防止の強化 (35.2%)

### ⑫芸術文化・スポーツ

- 1位: 子どもが文化芸術やスポーツに親しむ機会や環境の充実(51.9%)
- 2位: 芸術文化やスポーツの鑑賞・観戦機会の充実 (44.0%)
- 3位: 地域の文化財・伝統文化の保存や地域づくりでの活用(29.0%)

### ⑬交通網の整備

- 1位: 地域間を結び暮らしを支える国道や県道の整備 (50.6%)
- 2位: 日常生活を支える路線バス等の確保や利便性の向上(47.8%)
- 3位: 道路の渋滞対策や通学路などの交通安全対策 (46.0%)

### ⑭環境対策、自然保護

- 1位外: 植林や緑化など二酸化炭素の吸収源を増やす取り組みの推進
- 1位外: 廃棄物の適正処理や環境負荷を少なくする取り組みの推進 (35.2%)
- 3位: 家庭の省エネ・省資源化の促進(34.7%)